

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年02月03日

計画の名称	計画的な施設の改築更新による安全・安心なサービスの提供（防災・安全）														
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	豊田市														
計画の目標	都市の浸水対策及び下水道施設のストックマネジメントを行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、災害に強いまちづくりを目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		3,641	A	3,578	B	0	C	63	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		1.73	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）	（H30末）	（H32末）
1	下水道管路における長寿命化対策実施率を13%（H27末）から23%（H32末）に増加させる。			
	下水道管路における長寿命化対策実施率	13%	18%	23%
	長寿命化対策済みの管路延長（km）／長寿命化対策すべき管路延長（km）			
2	雨水貯留施設等設置基数率を0%（H27末）から100%（H32末）に増加させる。			
	雨水貯留施設等設置基数率	0%	60%	100%
	雨水貯留施設等の設置済数（基）／雨水貯留施設等の設置計画数（基）			
3	中部ポンプ場の改築・更新実施率を0%（H27末）から50%（H32末）に増加させる。			
	中部ポンプ場の改築・更新実施率	0%	50%	50%
	改築・更新が行われている施設数／改築・更新すべき施設数			
4	災害用便層設置率を14%（H27末）から31%（H32末）に増加させる。			
	災害用便層設置率	14%	31%	31%
	災害用便層設置済数（箇所）／災害用便層設置計画数（箇所）			
5	公共下水道雨水管路の地震対策実施率を12%（H27末）から100%（H32末）に増加させる。			
	公共下水道雨水管路の地震対策実施率	12%	100%	100%
	地震対策済みの管路延長（m）／地震対策をすべき管路延長（m）			
6	秋葉1号汚水幹線の地震対策実施率を0%（H27末）から81%（H32末）に増加させる。			
	秋葉1号汚水幹線の地震対策実施率	0%	3%	81%
	地震対策済みの管路延長（m）／地震対策をすべき管路延長（m）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	長寿命化対策 L=5,017m	豊田市	■	■	■			619		策定済
		下水道長寿命化対策事業																	
	A07-002	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	ストックマネジメント L=4,800m	豊田市				■	■	712		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	豊田市	間接	民間	管渠（ 雨水）	新設	雨水貯留施設等設置	設置補助 貯留槽 N=250基	豊田市	■	■	■	■	■	10		-
		新世代下水道支援計画																	
	A07-004	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	ポンプ 場	改築	中部ポンプ場（浸水）	改築・更新工事（雨水ポンプ、ポンプ棟ほか）	豊田市	■	■				908		策定済
		下水道長寿命化対策事業																	
	A07-005	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 汚水）	新設	災害用便槽整備	災害用便槽設置 6箇所	豊田市	■	■				34		-
		下水道総合地震対策事業																	
A07-006	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 雨水）	改築	下水道（雨水）管路改築	耐震補強 L=553m	豊田市	■	■				720		-	
	下水道総合地震対策事業																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		H28 H29 H30 H31 R02																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	-	改築	ストックマネジメント（ 汚水・雨水）	ストックマネジメント計画策 定・調査	豊田市	■	■				40		-
	A07-008	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	地震対策 L=371m	豊田市			■	■	■	365		-
		下水道総合地震対策事業																	
	A07-009	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	ストックマネジメント 点検 ・調査 L=186km	豊田市			■	■	■	158		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-010	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	ポンプ 場	改築	下水道（汚水）施設改築	ポンプ場及びマンホールポン プ場の機器更新 10箇所	豊田市					■	12		策定済
		ストックマネジメント計画																	
										小計						3,578			
										合計						3,578			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	豊田市	直接	-	-	新設	災害用便槽整備	仮設トイレ及びテントの購入 整備 6箇所	豊田市	■	■				3	-	
		仮設トイレやテント等の資機材を整備することにより、災害時における避難場所の衛生環境を確保できる																	
		下水道総合地震対策事業																	
	C07-002	下水道	一般	豊田市	直接	-	-	新設	内水ハザードマップの作 成	内水ハザードマップの作成	豊田市	■	■				60	-	
		内水ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る																	
											小計						63		
											合計						63		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
豊田市上下水道局（下水道建設課、下水道施設課）において実施	令和4年11月
	公表の方法
	豊田市 下水道建設課ホームページに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 老朽管路及び施設の改築更新を行うことにより、道路陥没の未然防止など安全・安心な暮らしの実現に寄与している。 ・ 雨水貯留浸透施設の設置者へ費用の一部を補助することにより、雨水の流出抑制に寄与している。 ・ 汚水幹線の地震対策により、地震発生時の二次災害の防止に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

・ 「災害用便槽整備」については、関係課と調整した結果、整備時期の見直しが生じたため、本計画内で目標を達成することができなくなったが、関係課と再調整を行い早期に事業を実施する。

・ 「中部ポンプ場の改築・更新」及び「雨水管路の地震対策」については、平成30年度より事業を効果的に実施するため、防災・安全（重点計画）へ移行することとなった。このことにより、本計画内で目標を達成することができないものとなったが、移行した重点計画内で確実に事業を実施し、事業効果の早期発現を目指していく。

・ 本計画内で目標を達成することができなかった継続事業については、令和3年度からの社会資本整備総合整備計画に位置付け、引き続き事業を実施する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化対策実施率		
	最 終 目標値	23%	効率的に污水管路の長寿命化対策が実施できたため、目標値を上回ることができた。
	最 終 実績値	25%	
2	雨水貯留施設等設置基数率		
	最 終 目標値	100%	申請が想定よりも少なかったため、目標値と差異が生じた。
	最 終 実績値	58%	
3	中部ポンプ場の改築・更新実施率		
	最 終 目標値	50%	平成30年より防災・安全（重点計画）へ移行したため。
	最 終 実績値	0%	
4	災害用便槽設置率		
	最 終 目標値	31%	平成29年より関係課と調整した結果、整備時期を見直したため。
	最 終 実績値	14%	
5	雨水管路の地震対策実施率		
	最 終 目標値	100%	平成30年より防災・安全（重点計画）へ移行したため。
	最 終 実績値	12%	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	汚水幹線の地震対策実施率		
	最 終 目標値	81%	近接する関連工事と工程調整をした結果、当初計画予定箇所の整備時期を見直す必要が生じたため、目標値に差異が生じた。
	最 終 実績値	18%	
7	汚水管路の点検調査実施率		
	最 終 目標値	41%	効率的に汚水管路の点検調査を行い、目標値を上回ることができた。
	最 終 実績値	43%	
8	汚水ポンプ施設の更新実施率		
	最 終 目標値	17%	全体計画を見直し、他事業を優先的に実施したため、目標値に差異が生じた。
	最 終 実績値	4%	